

# 輸出事業計画

※申請者名：I Hミートパッカー株式会社・I Hミートパッカー十和田輸出コンソーシアム  
品目：牛肉

## 1. 輸出における現状と課題

### ◆現状◆

- 青森県の中でも十和田地区は県内でも有数の畜産が盛んな地域である。
- 同十和田ビーフプラントは厚生労働省より令和7年5月に米国に牛肉の輸出が可能だと畜場及び食肉処理施設として認定され、その後EU、台湾、タイ向け輸出食肉取扱施設としても認定された。香港向けについても申請中。
- 世界各地で日本産牛肉の認知度は向上しており、更に「日本食人気の高まり」、「日本産牛肉の味や魅力を背景とした食材としての世界的な評価の高まり」を背景に輸出量は増加しており、今後も世界各地での需要の高まりは継続する事が予想される。
- 令和7年5月には、食肉処理施設「I Hミートパッカー株式会社十和田ビーフプラント」、輸出事業者「伊藤ハム米久ホールディングス株式会社」等を構成員とした「I Hミートパッカー十和田輸出コンソーシアム」を設立し、日本産牛肉の輸出拡大に寄与すべく活動を開始した。
- 構成員である伊藤ハム米久ホールディングス株式会社は、日本畜産物輸出促進協議会（牛肉輸出協議会）に属し、輸出プロモーション活動として海外需要者の日本招聘、現地でのカッティングセミナーや海外展示会への出展等による和牛PR活動を実施している。
- 協力農場においては、十和田地区での和牛繁殖事業を開始、預託農家の拡大も検討し、青森県産和牛の輸出体制の整備を進めている。

### ◆課題◆

#### 【生産】

- 和牛生産者の高齢化が進み、肉用牛の飼養頭数が減少している。
- 県産牛肉を安定的に継続して輸出するため、肉用牛の安定供給体制づくりが必要である。

#### 【加工】

- 東北エリアでは、各国・各地域向け輸出認可を要する牛処理施設が不足している。

#### 【物流・販売】

- 現状輸出牛肉の主要部位は、国により差はあるものの、ステーキ用途のロース肉に偏重しており、供給が限定される。
- 各国・各地域への日本産牛肉の輸出量が増大するにつれて価格競争が激しくなっており売価が低迷傾向にある。

### ◆課題／国別◆

#### 【生産】

- （米国）米国輸出認定基準の生体牛取り扱い等の規制への対応が必要である。
- （EU）EU諸国が求めるアニマルフェアの観点から、生体牛取り扱い等の規制への対応可能な農家の確保が限定的であり、確実に生体牛を供給出来る体制の構築が必要である。  
EUおよび英国が求める各種規制（生体牛取り扱い、エストラジオール、ホスホマイシン、EUDR）への対応が可能な農家が限定的であり、同地域向け供給体制の構築が必要である。

#### 【加工】

- （米国）米国向け牛処理施設の認定基準は、と畜方式が懸垂放血のため血斑発生率が高い。
- （EU）多言語表記需要が高まっている。  
細かな規格要望が増加している。

#### 【物流・販売】

- （米国）特定主要地域での価格競争が激化する市場において、価格競争からの脱却が必要である。
- （EU）日本からは遠距離ながら、圧倒的な冷蔵市場である現地への輸送日数及び現地での商品回転期間を考慮した賞味期限設定を検討する必要性がある。

## 輸出事業計画

※申請者名：IHミートパッカー株式会社・IHミートパッカー十和田輸出コンソーシアム  
品目：牛肉

### 2. 輸出事業計画の取組内容

#### ◆取組内容／IHミートパッカー十和田輸出コンソーシアム共通◆

##### 【生産】

- 畜産クラスター事業を活用して協力農場である「みらいグローバルファーム株式会社」において十和田地区に和牛繁殖農場を整備し、令和3年4月から県産和牛の繁殖事業を開始した。
- 同コンソーシアムの構成員であり協力農場である「みらいファーム株式会社」において東北エリアの肥育牛預託先の拡大・選定を進めている。

##### 【加工】

- 米国、EU、台湾、タイ向け輸出食肉取扱施設として認定された。現在香港は認定に向け申請中である。今後も更なる輸出先拡大を目指す。

##### 【物流・販売】

- コンソーシアム事業の販売促進活動を活かし、各国・各地域でロース以外の部位の販促活動を推進する事により、現地実需者の知識向上を図り需要喚起を図る。
- 顧客提案素材を整備し付加価値化による価格競争からの脱却を図る。

#### ◆取組内容／国別◆

##### 【生産】

- （米国）令和7年3月で米国輸出認定基準に沿った生産体制を確立した。
- （EU）輸出実績のあるグループ会社の生体牛供給体制を確立した。協力農場の供給体制を整備し安定供給を図る。

##### 【加工】

- （米国）施設建設計画段階から放血ラインにおける血斑低減のための各種作業機器を選定している。コンソーシアム事業において、血斑発生低減に対する補助政策を有効活用する。
- （EU）ラベルなどへの多言語表記対応可能な作業機器を選定、商品供給する。要望事項は取捨選択しつつも、顧客要望と生産現実性の双方考慮の上、需要の定着や拡大への寄与を図る。

##### 【物流・販売】

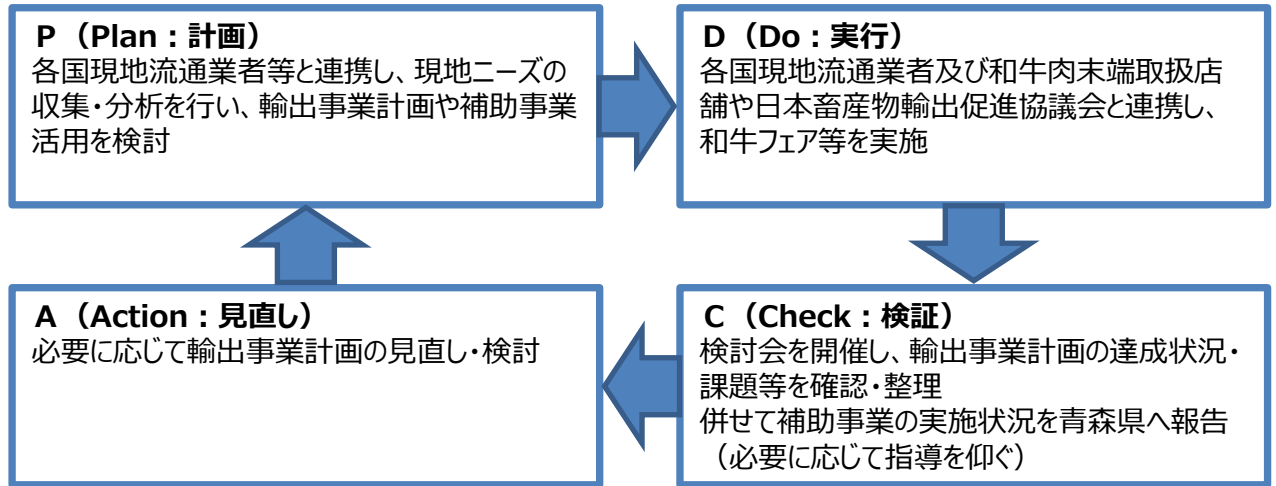
- （米国）新たな商流開拓、まだ日本産和牛の認知度が低く需要が小さい地域への拡販、十和田ビーフプラント品の付加価値化、等を推進する。
- （EU）新施設製造の冷蔵牛肉製品の賞味期限設定に関する各種データ収集試験を実施する。

# 輸出事業計画

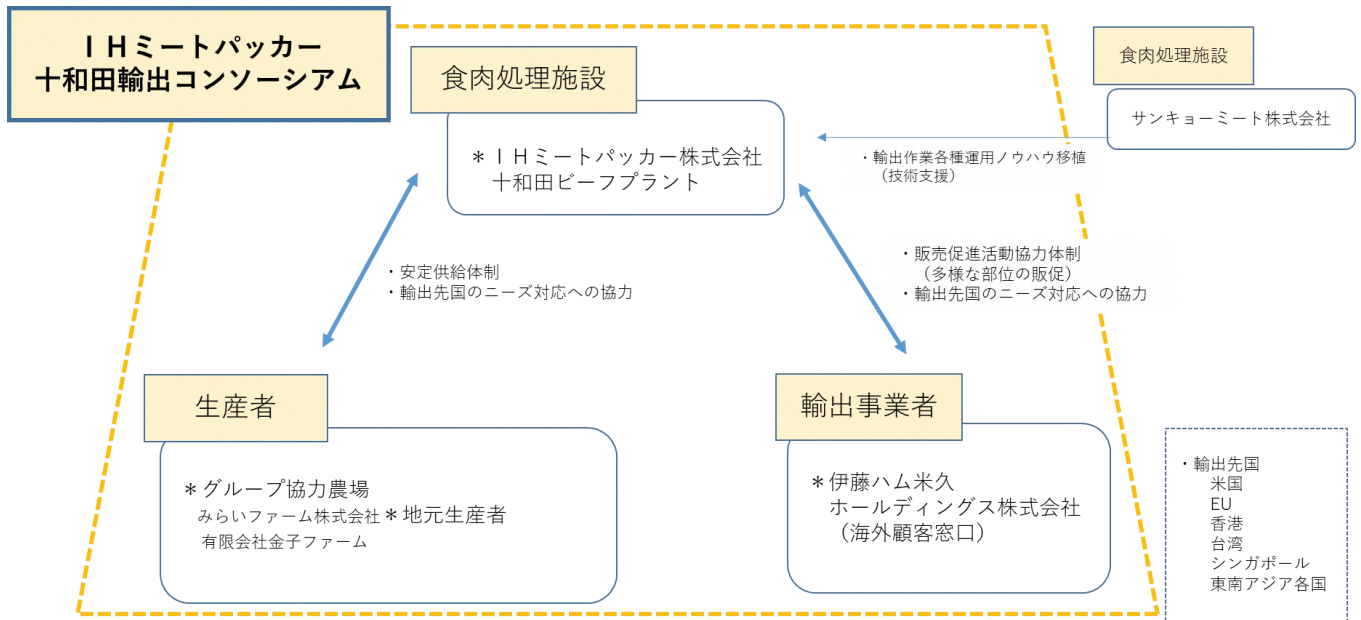
※申請者名：IHミートパッカー株式会社・IHミートパッカー十和田輸出コンソーシアム  
品目：牛肉

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

<PDCAサイクル図>



<連携体制図>



**輸出事業計画**

※申請者名：I Hミートパッカー十和田輸出コンソーシアム（I Hミートパッカー株式会社）

品目：牛肉

**4. 輸出目標額****牛肉**

	現状 (令和4年度)	目標年 (令和9年度)
輸出額（千円）	---	839,000
輸出量（kg）	---	100,000
輸出先国	---	米国・E U・香港・台湾・シンガポール・ 東南アジア諸国